2021年度
中小企業診断士試験
合格体験記

弱小診断士勉強会
石井 修平

2022.2.19

自己紹介

年齢	40代後半	居住地区	東京都在住	
仕事	国内電気機器メーカー勤務 子会社出向→シェアードサービス部門に勤務			
取得資格	診断士試験受験前	・TOEIC 890点 ・調達プロフェッショナル認定者（CPP）資格 A級		
	診断士試験受験中	・日商簿記試験3級＋2級 ・IPA 基本情報技術者試験＋応用情報技術者試験　など		
性格	マイペースな内向型。いわゆる「木を見るより森を見る」タイプ。理屈っぽい。 弱点は、完璧主義的なところ。（完璧にできないと嫌になってやめてしまう）			
得意科目	1次試験	・企業経営理論 ・経済学 ・財務・会計	2次試験	・事例Ⅰ
不得意科目		・経営法務 ・中小企業経営・政策		・事例Ⅳ
受験回数		４回		３回
学習時間		約800H（200H/年）		約1,700H（700H/年）
試験勉強の総括	全般的に、理論が重視される科目を得意とする一方で、 一次知識が問われる問題や科目への対応に課題があった。			

中小企業診断士試験に挑戦したきっかけ

これまでの私は、会社の物流部門で輸出入の手続きをしたり、
購買部門で間接材の購買管理を行ったりしてきたが…

その購買部門で、売上向上の提案を企画・説明した際に
その提案がなかなか承認されなかったり…

かねてから興味のあった経営部門の社内公募に応募しても、
書類審査で落とされてしまったり…などといった事が重なり、

自分自身の実力不足を痛感し、将来に不安を感じるように。
一念発起して、社内外に実力を示せる価値の高い資格の取得を決意。

中小企業診断士試験を選んだ理由

社内外に実力を示せる価値の高い資格の取得を決意した事を受けて、
書籍やネットで候補となりえる資格を調査。

その結果、いくつかの候補となる資格をピックアップできたものの、
最終的にどの資格取得に挑戦するかを決めるのに迷いが…

自分のキャリアは、典型的なジェネラリスト型で高い専門性に欠ける…
資格の将来性で判断しようとしても、ネガティブな意見が多くて不安が…

最後は、自分が一番興味を持てる資格に挑戦しようと考え、
最終的に、勉強内容に一番興味が持てた診断士の資格取得を決意。

学習スタイルの選択

中小企業診断士の資格の取得を決意した事を受けて、

資格取得の為の学習スタイルはどのようなものがあるかを調査。

その結果、主に下記の4通りの学習スタイルがある事を確認。

自身の性格を鑑みつつ、学習継続の観点から最初は独学を選択。

	特定の時間に複数人が集まって勉強	自分一人でマイペースに勉強
大手スクール（プロの勉強方法）	予備校	通信講座
	○：カリキュラム有、講師の援助、意欲維持が容易 等	○：カリキュラム有、勉強時間・場所が自由　等
	×：費用が最も高い、時間拘束も最大　等	×：独学より費用高、講座の内容が合わない恐れ　等
自主学習（アマチュアの勉強方法）	勉強会	独学
	○：費用は安め、相談できる、意欲維持が容易 等	○：費用が最も安い、勉強時間・場所・計画が自由　等
	×：一定の時間拘束、勉強レベルが合わない恐れ　等	×：分からない部分を聞けない、意欲維持が困難　等

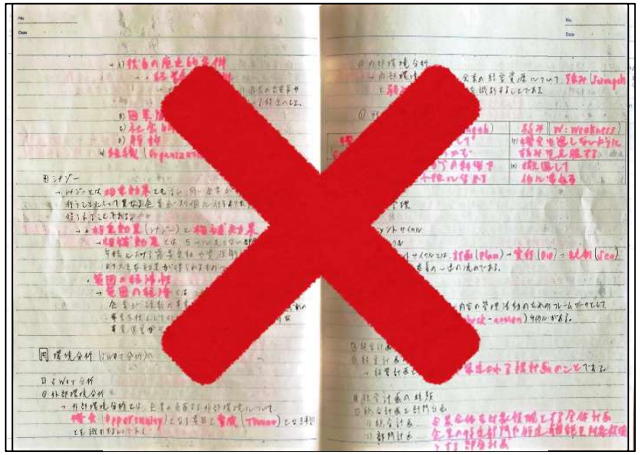
学習方針の設定

学習スタイルも決定して、本格的に診断士試験の勉強を開始。

まずは1次試験用テキストの内容を逐一ノートに書き写そうとしたが…

「これでは勉強が続かない」と判断し、テキスト熟読のみに切り替え。

この経験を踏まえて、自分自身の学習方針を以下のものに設定。



◆学習方針…

「目標は大きくするが、中間ステップは小さく・細かく・速くこなす」

をモットーにした“アジャイル”勉強スタイル。

↓

※一回一回の勉強の負荷を最小限にする事で、

「勉強が嫌になってやめてしまう事」の回避を図った。

合格までの学習方法①（1次試験編：1年目-勉強会参加前）

科目	前年度の得点	勉強方法	使用した教材	当年度の得点	合否判定
経済学	―	・市販の教材及び問題集を熟読するのみ。	・TAC『中小企業診断士_最速合格のためのスピードテキスト』 ・TAC『中小企業診断士_最速合格のためのスピード問題集』 を各7科目ごとに揃えて、熟読したのみ。 ※1年目は過去問には一切手を出さなかった。	52	×
財務・会計	―			60	○
企業経営	―			70	○
運営管理	―			68	○
経営法務	―			52	×
経営情報S	―			64	○
中小	―			52	×
合計	―			418	×

・1年目は、初受験ということもあり、試験勉強をどのように進めていけば良いのかがよく分からなかった事や、
そもそも中小企業診断士の受験勉強を合格まで継続できるかどうか自信がなかった事などから、
上記の勉強方法で、自分がこの試験に適性があるかどうかを判断する「お試し受験」と位置付けていた。

↓

・試験の結果、科目合格は4科目。総得点は418点…。
合格まであと2点と涙を飲んだが、科目合格できたのが4科目と想定以上に多かったので、試験勉強の継続を決意。

合格までの学習方法②（1次試験編：2～4年目-勉強会参加後）

科目	初年度の得点	勉強方法	使用した教材		4年間平均点	合否判定
			基本	＋α		
経済学	52	・テキスト熟読	・TAC『中小企業診断士_最速合格のためのスピードテキスト』 ・TAC『中小企業診断士_最速合格のためのスピード問題集』 ・TAC『中小企業診断士_最速合格のための第1次試験過去問題集』 を各7科目ごとに揃えて、それぞれ最低限1周＋αをこなす。 ・ネット上で1次試験の過去問を無償提供しているの『中小企業診断士の受験サイト』を活用。	・同友館『中小企業診断士のための経済学入門』	73	○
財務・会計	60	・テキスト熟読 ・資格試験受験		・TAC『よくわかる簿記シリーズ_合格テキスト_2～3級』 ・TAC_よくわかる簿記シリーズ_合格トレーニング_2～3級』	74	○
企業経営	70	・テキスト熟読		―	70	○
運営管理	68	・テキスト熟読		―	68.75	○
経営法務	52	・テキスト熟読		―	61	○
経営情報S	64	・テキスト熟読 ・資格試験受験		・SBクリエイティブ『いちばんやさしい_ITパスポート_絶対合格の教科書＋出る順問題集』	69	○
中小	52	・テキスト熟読 ・Youtube視聴		・同友館『図解要説_中小企業白書を読む』 ・Youtube『ほらっちちゃんねる』	60.75	○
合計	418				476.5	○

※＋αにおける赤字の教材・コンテンツは、弱小診断士勉強会で紹介して頂いたもの。青字のモノは、自分自身の考えで取り入れたもの。

・勉強会への参加を通じて、各科目の得点を軒並み上昇させる事に成功。2年目で1次試験の合格を勝ち取り、以降は連続して合格。

合格までの学習方法③（2次試験編：2年目）

科目	前年度の得点	勉強方法	使用した教材		当年度の得点	評価判定
			基本	＋α		
事例Ⅰ	―	・過去問2事例の解答を事前に作成して、勉強会で設問分析・回答議論を実施。	・同友館『ふぞろいな合格答案_10年データブック』 ・同友館『ふぞろいな合格答案_中小企業診断士2次試験（2019年度版）』 ・同友館『中小企業診断士_2次試験合格者の頭の中にあった全知識・全ノウハウ』	―	63	A
事例Ⅱ	―			―	58	B
事例Ⅲ	―			―	59	B
事例Ⅳ	―			・同友館『事例Ⅳの全知識+全ノウハウ』	59	B
合計	―				239	B

※＋αにおける赤字の教材・コンテンツは、弱小診断士勉強会で紹介して頂いたもの。

・1次試験向けの試験勉強に全力を注いでいたため、2次試験については全く勉強方法が分からず途方に暮れていたが、
弱小診断士勉強会で開催された「2次試験に向けたロケットスタートセミナー」に参加して、
「とにかく勉強会のカリキュラムについていく事を考えよう」と思い、2次試験向けの勉強会に参加して過去問に取り組む。
取り組めた事例の数は、平成30年～27年度の各事例Ⅰ～Ⅳの合計16事例。

↓

・試験の結果、事例Ⅰ63点、事例Ⅱ58点、事例Ⅲ59点、事例Ⅳ59点の合計239点…。
またしても涙を飲んだ。

合格までの学習方法④（2次試験編：3年目）

科目	前年度の得点	勉強方法	使用した教材		当年度の得点	評価判定
			基本	＋α		
事例Ⅰ	63	・過去問2事例の解答を事前に作成して、勉強会で設問分析・回答議論を実施。 ・『戦略策定プロセス』シートを作成。	・同友館『ふぞろいな合格答案_10年データブック』 ・同友館『ふぞろいな合格答案_中小企業診断士2次試験（2019年度版、2020年度版）』 ・同友館『中小企業診断士_2次試験合格者の頭の中にあった全知識・全ノウハウ』	－	61	A
事例Ⅱ	58			・中央経済社『スモールビジネスマーケティング_小規模を強みに変えるマーケティングプログラム』	52	B
事例Ⅲ	59			－	51	B
事例Ⅳ	59			・同友館『事例Ⅳの全知識+全ノウハウ』 ・同友館『30日完成！事例Ⅳ合格点突破計算問題集』 ・日商簿記2級試験の受験	55	B
合計	239				219	B

※＋αにおける赤字の教材・コンテンツは、弱小診断士勉強会で紹介して頂いたもの。青字のモノは自分の考えで取り入れたもの。

・1次試験の財務・会計と2次試験の事例Ⅳの対策のつもりで、日商簿記2級の取得に挑戦し、合格。

・前年度から引き続き、2次試験向け勉強会に参加して過去問の解答作成に取り組む事と同時に、事例企業の経営課題やSWOT分析等をまとめる『戦略策定プロセスシート』の作成に取り組む。取り組めた事例の数は令和元年～平成23年度までの各事例Ⅰ～Ⅳの合計36事例。

↓

・試験の結果、事例Ⅰ61点、事例Ⅱ52点、事例Ⅲ51点、事例Ⅳ55点の合計219点…。

自分では試験後の手ごたえがあったにも関わらず、前年度から全ての事例で軒並み得点が下がっている事に愕然とする。

合格までの学習方法⑤（2次試験編：4年目）

科目	前年度の得点	勉強方法	使用した教材		当年度の得点	評価判定
			基本	＋α		
事例Ⅰ	61	・過去問2事例の解答を事前に作成して、勉強会で設問分析・回答議論を実施。 ・『戦略策定プロセス』シートを作成。 ・『設問分解シート』を作成＋独自に改良を加える。 ・同友館『企業診断』の2次練成問題に取り組む。	・同友館『ふぞろいな合格答案_10年データブック』 ・同友館『ふぞろいな合格答案_中小企業診断士2次試験（2019年度版、2020年度版）』 ・同友館『中小企業診断士_2次試験合格者の頭の中にあった全知識・全ノウハウ』 ・早稲田出版『TBC_中小企業診断士試験シリーズ_2次試験対策_事例Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ_2次テキスト』の写経。 ・同友館『図解要説_中小企業白書を読む』	－	?	?
事例Ⅱ	52			・中央経済社『スモールビジネスマーケティング_小規模を強みに変えるマーケティングプログラム』	?	?
事例Ⅲ	51			－	?	?
事例Ⅳ	55			・同友館『事例Ⅳの全知識+全ノウハウ』 ・同友館『30日完成！事例Ⅳ合格点突破計算問題集』 ・税務経理協会『意思決定会計講義ノート』	?	?
合計	219				?	A

※＋αにおける赤字の教材・コンテンツは、弱小診断士勉強会で紹介して頂いたもの。青字のモノは自分の考えで取り入れたもの。

・引き続き2次試験向け勉強会に参加。これまでの勉強に加えて、『設問分解シート』の作成と同友館『企業診断』の2次練成問題に取り組む。
同時に、自分の課題となっていた一次知識不足を克服するためにTBCの2次テキストの写経を実施。＋αの取り組みも検討・実施し始める。

↓

・試験の結果、事例Ⅳで大失敗。不合格を覚悟したが、結果はまさかの合格！口述試験も無事通過して、晴れて2次試験合格を勝ち取る。

これから合格を目指す方へのアドバイス①

①診断士を受験する理由・きっかけは、高尚なものや明確な目的意識に基づくものでなくて良い！

自分が中小企業診断士試験を受験しようと思い立ったきっかけは、
「会社での失敗や挫折に基づく不安やコンプレックス」に起因するものであり、
高尚なキャリアパスの計画や明確な目的意識に基づくものではなかった。

↓

しかし、「自分を成長させたい！」という気持ちが本物であるならば、
中小企業診断士試験への挑戦は、必ず自分を成長させてくれる。

自分が中小企業診断士試験を通じて取得した関連資格		
財務・会計	・日商簿記試験3級	2018年11月　合格
	・日商簿記試験2級	2020年02月　合格
経営情報システム	・IPA ITパスポート試験	2018年12月　合格
	・IPA 基本情報技術者試験	2021年03月　合格
	・IPA 応用情報技術者試験	2021年04月　合格

これから合格を目指す方へのアドバイス②

②診断士試験は長期戦！何よりも勉強継続が大事なので、自分自身の性格を鑑みて、自分に合った学習スタイルや学習方針を立てよう！

中小企業診断士試験の合格までに必要とされる勉強時間は、
一般に、1000時間～1500時間と言われている事から、
試験勉強は長期戦を想定しなくてはならない。

自分の中小企業診断士試験の総学習時間（※参考）						
	1年目	2年目	3年目	4年目	合計	年平均
1次試験	210 時間	206 時間	213 時間	178 時間	807時間	約200時間/年
2次試験	―	270 時間	765 時間	671 時間	1,706時間	約700時間/年

↓

そのため、何よりも「勉強を継続する事」が合格にとって一番重要となる。
自分自身も、当初は予備校や通信教育などを検討していたが、
「自分のやり方で物事を進めないと気が済まない」性格を鑑みて独学を選択。

これから合格を目指す方へのアドバイス③

③中小企業診断士試験に合格する為には、『“負けない”戦略』と『“勝つ”戦略』の両方が必要。

“負けない”戦略　とは……足きりを回避して、合格点60点に近づけるための戦略
→有効対策は、他の受験生と情報共有する場を確保する事！

“勝つ”戦略　とは……合格点60点を超えて、他者より抜きんでるための戦略
→有効対策は、得意科目に絞った上での診断士の勉強範囲を上回る勉強！

中小企業診断士試験における“負けない”戦略と“勝つ”戦略の重要性

	“負けない”戦略		“勝つ”戦略	
	目的	効果的な対策	目的	効果的な対策
1次試験	足切り40点回避	他の受験生との情報共有の促進	2次試験の挑戦権の安定確保	科目に関連する資格取得への挑戦
2次試験	足切り40点回避	他の受験生との情報共有の促進	相対評価である2次試験に合格する	既存の受験知識・フレームワークの改良

これから合格を目指す方へのアドバイス④

④“負けない”戦略と“勝つ”戦略を実行するに当っては、勉強会への参加が非常に有効！

“負けない”戦略　を実行するにあたっての勉強会に参加するメリット

①効率的・効果的な情報収集が可能になり、試験の“一般常識”を把握できる。

②即座に質問→フィードバックを得られる為、迅速な弱点克服が可能に。

③正解した問題について自分から解説する事で、本当の理解度を自覚できる。

“勝つ”戦略　を実行するにあたっての勉強会に参加するメリット

①自分が考えた戦略について、実行した人がいたらその実際効果を確認できる。

②自分が考えたノウハウ改良案を勉強会で試行してフィードバックを得る事で、自分の試験ノウハウのブラッシュアップを図れる。